

都立広尾病院「連携救急ホットライン」

広尾病院では、連携登録医の皆様からの診療依頼にスムーズにお応えするために、連携救急ホットラインを下記のとおり開設しております。

ホットライン(24時間・365日対応)

1

ハートライン TEL03-3446-6074

心筋梗塞・重症不整脈・大動脈解離等が疑われる場合は、ご相談ください。直接、循環器科の医師につながります。



2

脳卒中ホットライン TEL03-3446-5213

急性期脳卒中が疑われる場合は、ご相談ください。直接、脳神経外科の医師につながります。万一手術中等で対応できないこともありますので、予めご了承ください。



3

小児連携ホットライン TEL03-3446-5217

小児科の救急受診が必要な場合は、ご相談ください。直接、小児科の医師につながります。



4

外傷センターホットライン TEL03-3446-5220

即時対応が必要そうな四肢外傷・整形外科外傷は、いつでもご相談ください。直接、整形外科の救急当番医師につながります。万一手術等で対応できないこともありますので、予めご了承ください。



5

連携救急ホットライン TEL03-3446-5236

上記1、2、3、4以外で当日の救急受診が必要な場合は、ご相談ください。直接、ERコーディネーター医師につながります。



お問い合わせ

独立行政法人東京都立病院機構 東京都立広尾病院

〒151-0013 東京都渋谷区恵比寿2-34-10

03-3444-1181 (検査科 2601) 平日 9時～17時

2025年12月発行

検体採取のポイント



地方独立行政法人 東京都立病院機構

東京都立広尾病院

Tokyo Metropolitan Hiroo Hospital

- 検体採取パンフレット寄せ書き -

この度は、「検体採取のポイント」を手にとっていただきありがとうございます。

2023年12月に発行した正しい検査値を出すための「採血時のポイント」は多くの反響をいただきました。

第2弾となる今回は、感染対策向上加算Ⅰを取得している当院細菌検査室が「採取前に気をつけること」、「感染対策の基本」に加え、自施設で行う感染症迅速検査はもちろんのこと検査を外部に委託する際の正しい検体採取法の重要性について整理しました。

検体の質は検査結果に直結します。本パンフレットが検体採取の理解を深め、日々の診療現場での正確な診断と安全な医療につながる一助となれば幸いです。

2025年12月 広尾病院検査科

東京都立広尾病院
公式キャラクター

りっすん



- 目次 -

1 採取前に気をつけること

P.3

- 正しい検体採取の意義、注意点
- 個人防護具

2 感染症迅速検査

P.5

- 咽頭・鼻咽頭・鼻腔・眼
- 感染症迅速検査とは？

3 呼吸器系検体

P.7

- 喀痰・尿素呼気試験
- 培養検査とは？

4 泌尿器系検体

P.9

- 採取前の準備
- 中間尿・初尿・カテーテル尿・パック尿
- 尿一般検査とは？

5 生殖器系検体

P.11

- 細胞診（直接塗抹法・LBC法）
淋菌/クラミジア・トラコマチスPCR
- 細胞診検査とは？
- PCR検査とは？

1 採取前に気をつけること

①正しい検体採取の意義

患者さんの疾患を見つけるために重要なことの一つとして、適切な検体採取が挙げられます。一言で検体採取と言っても、その中には検体の「採り方」「採取量」「採取容器」「保管温度」など、注意しなければならないことがたくさんあります。

仮に適切に検体採取が行われなかった場合、**偽陰性**や**偽陽性**を引き起こし、**検査結果を誤って解釈**してしまう危険性があります。患者さんに最適な治療を提供するためにも、適切に検体を採取することは必要不可欠です。

②採取時の注意点

検体を採取する時は、検査試薬会社や委託している検査センター指定の容器で採取することが重要です。その理由は、指定の容器を用いて検査をした時に、正確な検査結果が出ることが保証されているためです。

また、検査センターに検体を提出する場合は、検査センターが提示している**採取量**や**保管温度**を**遵守**する必要があります。遵守しなかった場合、結果が参考値となったり検査不可となってしまう可能性があります。

③検体採取時の个人防护具（PPE）

検体採取時の个人防护具は感染防止に不可欠です。具体的には、マスク・フェイスシールド・ガウン・手袋などを使用します。特に重要なのは**着脱手順の遵守**と**手指衛生**であり、誤った方法では、**自己汚染**や**感染拡大のリスク**が高まります。脱衣時は、汚染部位に触れないよう注意することで、より安全な検体採取を心掛けましょう。

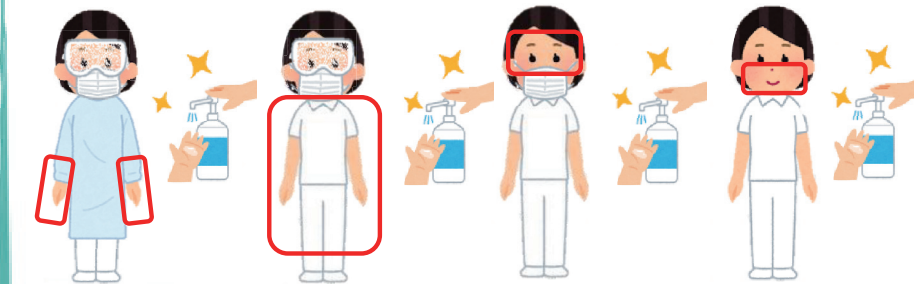
PPEの着脱手順例

【着衣時】 ガウン ➡ マスク ➡ フェイスシールド ➡ 手袋



【脱衣時】 **1つの个人防护具を外すごとに手指消毒する**

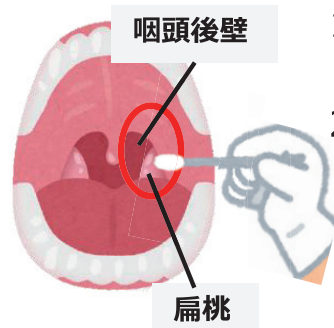
手袋 ➡ ガウン ➡ フェイスシールド ➡ マスク



参考：COVID-19感染対策 个人防护具（PPE）・環境整備 マニュアル作成ガイド Ver.1
公益社団法人東京都看護協会 危機管理室作成（2021.12.15）
サラヤ株式会社HP 複数のPPEを使用する場合の着脱方法

2 感染症迅速検査

①咽頭



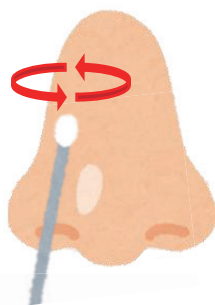
- 1) 患者さんに口を大きく開けてもらいます。
- 2) 喉の奥にある咽頭後壁、扁桃の発赤部や炎症部分を中心に数回こすります。
※必要に応じて、舌圧子を使用しましょう。

②鼻咽頭



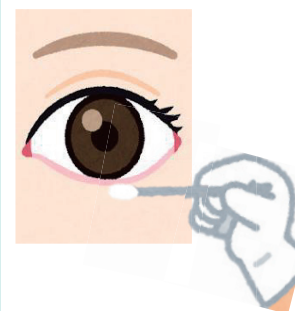
- 1) 患者さんに頭を少し後ろに傾けてもらいます。
- 2) 鼻孔より耳方向にまっすぐ挿入し鼻咽頭の壁まで挿入します。
- 3) 到達したところで数秒間待ち、スワブを軽く回転させ、細胞・粘液を擦過します。

③鼻腔



- 1) 患者さんに頭を少し後ろに傾けてもらいます。
- 2) 鼻の穴から2cm程度奥まで挿入します。
- 3) 側面や上壁に軽く押し当て数回回転させ、分泌物を採取します。

④眼

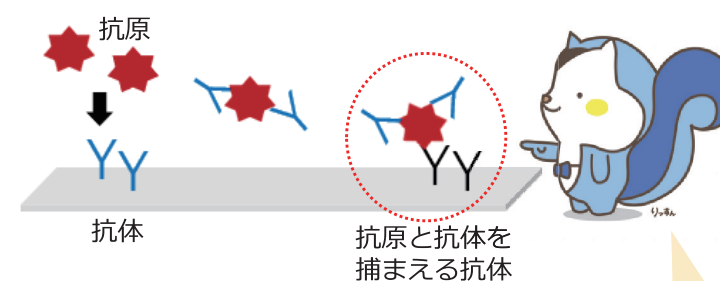


- 1) 患者さんに頭をまっすぐに保ってもらいます。
- 2) 下まぶたを軽く引き下げます。
- 3) 結膜に軽くスワブを押し当てて回転させ、分泌物を採取します。
※目は敏感なので、あまり強くこすらないように注意しましょう。

感染症迅速検査とは？

感染症迅速検査は、感染症を起こしている微生物やウイルスを短時間で調べる検査です。

検体（鼻腔や咽頭ぬぐい液など）を検査キットに反応させると、病原体が持つ「抗原」とキット内の「抗体」が反応し、ラインが出ることで目的とした微生物やウイルスの有無が確認できます。



ここにラインが出てきたら陽性と判定！
迅速性や簡便性などのメリットがあるよ♪

参考：臨床微生物検査技術教本 13.8免疫学的検査法

3 呼吸器系検体

① 喀痰

重要! 喀痰は質が重要!

喀痰は、唾液や口腔内常在菌の混入が避けられない検体です。しかし、感染症の原因となっている細菌は、喀痰の**膿性部分に多く存在**しているため、採取後の質の確認は非常に重要です。

採取方法

- 1) 圧迫されない体位を取ります。
- 2) ゆっくり時間をかけて深呼吸を複数回行います。
- 3) 最大に息を吸ってもらい、3秒間息を止めます。
- 4) その後一気に吐き出してもらいます。
- 5) 3と4を繰り返し行い、強く咳き込んだタイミングで痰が出たら滅菌カップに採取します。



培養検査とは?

感染症が疑われる患者さんから様々な検体（喀痰、尿、便など）を採取して、感染症の原因となる細菌が存在しているかを調べる検査です。原因となる菌がいた場合、抗菌薬の有効性を調べる検査に進みます。

結果報告は後日判明しますが、適切な感染症の治療に貢献します。

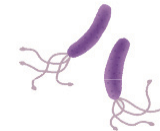
参考：臨床検査 増刊号 Vol.58 No.11 2014

② 尿素呼気試験



採取方法のポイント

- (1) 呼気採取バックを口にくわえ、鼻から息を吸って**5～10秒**程度息を止めます。
 - (2) 肺の中に溜めていた息を吐き出すようにゆっくりと呼気採取バックに吹き込みます。
- ※息が苦しい場合は、(1)(2)の動作を**2～3回**に分けて行っても問題ありません。



採取手順



呼気の採取：薬を飲む**前後**の計**2回**

- 1) **薬を飲む前**に呼気を採取します。
- 2) 薬をつぶさずに、**水100mLで5秒以内**に飲みます。
- 3) 飲んだらすぐに**左側を下**にして**5分間横**になります。
- 4) 次に**15分間座った姿勢**になります。
- 5) **薬を飲んで20分経過**したところで、別の呼気採取バックに呼気を採取します。
※採取バックを十分に膨らませてから直ちにキャップをつけて下さい。



4 泌尿器系検体

採取前の準備

泌尿器系の検体は、尿道や陰部に存在している皮膚の常在菌が混入しやすい検体です。常在菌が混入することで感染症の原因となっている病原体との区別が困難となる場合があります。

そのため、検体を採取する前に、採取する人自身が手指消毒を実施することや、尿道口・外陰部を滅菌水含有綿などで清拭してから採取することが重要です。

①中間尿

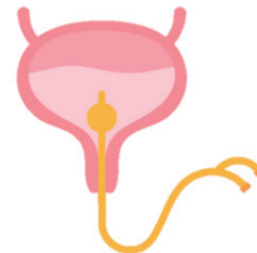


- 1) 尿の**流れの途中**から滅菌カップを差し入れます。
 - 2) 尿を必要量採取し、滅菌カップを流れから外します。
- ※出始めの尿は常在菌が混入しやすいため、採取しないように注意して下さい。

②初尿

- 1) **出始めの尿**を20mL程度、滅菌カップに採取します。
- 2) 必要量を採取し、滅菌カップを流れから外します。

③カテーテル採取尿



- 1) カテーテルを患者の膀胱に挿入します。この時、**最初に流出する尿(15mL～30mL)は採取しない**ようにします。
- 2) 途中以降の尿を滅菌容器に採取します。

④パック尿

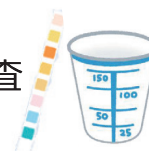


- 1) 採尿パックの剥離紙をはがし、採尿パックを少し膨らませます。
 - 2) **尿道口**を確実に**パック内**に収め、尿道口付近を覆います。
- ※最大採取量が決められているため、長時間放置はしないように注意して下さい。

尿一般検査とは？

腎臓や肝臓・胆嚢などの病気を見つけるための検査として実施されます。尿試験紙法は、尿糖や尿蛋白などの多項目を一度に測定することが可能です。尿に試験紙を浸し、色の変化で判定をしているため、簡便であり迅速性も高い検査です。

ただし、偽陰性や偽陽性も起こりやすい検査であるため、結果の解釈には注意が必要です。

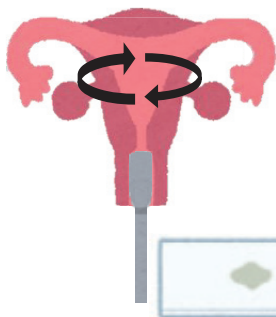


参考：検査技師による検査技師のための技術教本 一般検査技術教本 尿試験紙の基礎

5 生殖器系検体

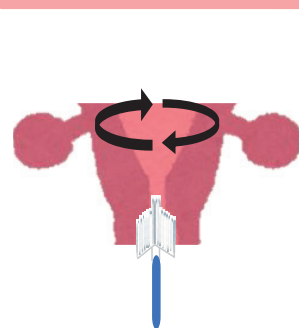
①細胞診：直接塗抹法

子宮頸部



- 1) 扁平円柱上皮境目 (SJC) を中心に細胞を採取します。
 - 2) 採取後ただちにスライドガラスに塗ります。
- ※その後の処理は、委託会社の指定の方法で実施して下さい。

②細胞診：LBC法



- 1) ブラシの長いところを子宮口に軽く押し当てます。
 - 2) 時計方向に**5回程度**回し、細胞を擦過します。
 - 3) ブラシを慎重に引き抜きます。
- ※採取後の処理は委託会社の指定の方法で実施して下さい。

細胞診検査とは？

針やブラシなどで採取した細胞を顕微鏡で観察して、がんの疑いがあるかなどを調べる検査です。

患者さんの体への負担が少なく、がん検診や治療方針の決定に役立ちます。



参考：日本臨床細胞学会 細胞診の話

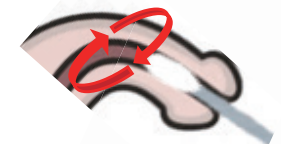
③淋菌/クラミジア・トラコマチスPCR

膣（女性）



- 1) スワブを膣口から**5cm**ほど挿入します。
 - 2) 膣壁にこすりつけるようにして時計回りに**約30秒**ほど回します。
 - 3) スワブを慎重に引き抜きます。
- ※子宮頸管を採取する際は、指定のスワブを5回程度回して採取して下さい。

尿道（男性）

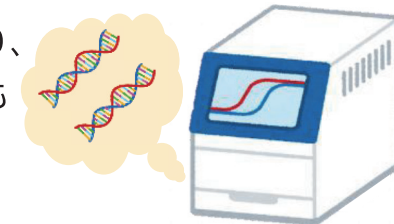


- 1) スワブを尿道に**2～4cm**ほど挿入します。
 - 2) 時計方向に**2～3秒**間ゆっくりと回転させ、擦過物を採取します。
 - 3) スワブを慎重に抜き取ります。
- ※採尿後1時間以上経過した患者から採取して下さい。

PCR検査とは？

原因となっている病原体の遺伝子を増幅する検査です。特定の遺伝子を増幅させるため、少量の遺伝子でも検出することができ、高感度であるとされています。

現在では、手技が簡便であり、検査結果が迅速に分かる機器も増えてきています。



参考：最新 臨床検査学講座 臨床微生物学 8 感染症の遺伝子診断

- 広尾病院検査科 細菌検査室より -

最後までパンフレットを読んでいただきありがとうございます。このパンフレットでは、基本的な採取方法の一例をご紹介しました。正しい検体採取の重要性や个人防护具の意義についても、細菌検査技師の視点でご説明させていただきました。

ぜひ皆さんでご活用ください！

その他、何か検査のことでお困りごとはありませんか？



- ・この耐性菌っていったい何？
- ・薬剤感受性検査結果をどう解釈したら良いのだろう？

など、何かありましたら、広尾病院検査科の細菌検査室までお気軽にご連絡ください♪

- 検体採取に関する参考文献 -

- 臨床と微生物 Vol.51 No.3
- 一般社団法人日本臨床微生物学会
検体採取・輸送・保存方法およびPOCT検査ガイド
- 細胞診ガイドライン1 婦人科・泌尿器科
- 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 HP
サーベックブラシ細胞採取方法
- 厚生労働省
尿素呼気試験の説明（ヘリコバクター・ピロリ菌の検査） 2018年3月

MEMO



今後の参考とさせていただくため
パンフレットに関するアンケートに
ご協力お願いいたします。
受付期間：2026年3月末日まで

